

# 次世代の教育のために各省庁へ 国会議員の方々と教育懇談会



十月十五日(月)に東京で行われた各省(財務省・厚労省)への要望や教育懇談会に、香教連から安部忠明高等学校協会長、原井和彦副委員長が出席した。

まず各省への要望では、財務省には、基礎定数及び加配定数の充実に必要な教職員の計画的、安定的な配置に必要な予算措置等、厚生労働省には、児童相談所の強化プランの推進と学校との連携体制の充実等、総務省には、未成年者が含まれた更なる規制の強化等を要望した。

次に教育懇談会では、「次世代の教育のために必要な学校の環境整備と充実について」と題して、下村博文文科大臣、松野博二元文科大臣、山口泰明組織運動本部長、中村裕之文科大臣政務官、赤池誠章文教科科学部会長をはじめ多数の国会議員の方々と話し合った。その中で、自由民主党教育再生実行本部から出された第十次提言の中の「次世代の学校指導体制実現部会」から示された提言をもとに、全日教連が現場の声を集約して作成した「未来を担う子供たちのために教育施策一〇の提言」という資料内容を中心に議論した。基礎定数の改善及び加配定数の拡充やチーム学校の実現に必要な学校組織体制の整備、ICT環境の整備等多岐に亘る意見交換を行った。

国会議員の方からは、教員の働き方について、学校現場の現状を御理解いただいた上で、すぐに長時間労働を改善することは難しいかもしれないが、具体的な改善点を要望等で伝えてもらうことで、より実効性のある教育施策を考え、一つ一つ実現させていくことを提言していただいた。



# 五単組合で 「教職員の働き方改革」の 実現に向けて要望

東部教育事務所において、高松市学校職員協議会・小豆郡教職員会・大川教職員協議会・木田郡教職員協議会・直島町教職員会が合同で勤務要望を行った。

今年三月に県教委から出された「教職員の働き方改革プラン」の内容をもとに、現場の状況や様子などを踏まえながら業務改善に向けての要望を行った。



# 人生100年、考え方が変わりますか?

九月二十一日(金)十九時より、香川県教育会館三階会議室において、「先生のためのマネーセミナー」を開催した。

株式会社L.I.C四国F.P.ラボ・前川朋子様をお招きして、今回は「一〇〇歳までの準備はできていますか?」について説明していただきました。

もしもの時の心配や老後はどれくらい必要になるのかなど、将来を見える化してお金の不安を解消していくプランを、具体的に分かりやすくアドバイスしていただきました。



十月十九日(金)には、株式会社L.I.C四国F.P.丸亀オフィスにて、今回と同様の内容について話してくださる予定になっている。開始時間は十九時から一時間程度となっている。興味・関心のある方や、さらに詳しく内容を聞いてみようと考えていらっしゃる方、ぜひお気軽に御参加ください。



香川県教職員連盟 Facebook開設中!



四日 高松評議員会 (県教育会館)

八日 第二回給与法制局会議 (東京・全日教連事務所)

一日 日本教文研教育問題審議委員会 (東京・全日教連事務所)

三日 坂出評議員会 (坂出勤労福祉センター)

四日 香川教文研委員会 (県教育会館)

二〇日 仲善評議員会 (県立丸亀競技場)

二一日 丸亀評議員会 (県立丸亀競技場)

大川評議員会 (大川オアシス)

二五日 高松評議員会 (県教育会館)

二六日 県教委予算予備要望 (分庁舎)

二八日 木田評議員会 (サンサン館みき)

二九日 香川県「第十二回親守詩」優秀作品発表会 (ミュージズホール)

日本教文研教育問題審議委員会研究部会 (東京・全日教連事務所)

